

平成27年度こうちふるさと寄附金活用事業(実績)

◇ 平成26年度に頂きました649件、23,663,541円のご寄附は、下記の平成27年度の事業(4分野13事業)に活用させていただきました。 ※基金の運用益等も活用しているため、平成26年度の寄付額とは一致しません。

<分野1 こうちの「山」「川」「海」の環境を守り育てる>

○清流保全計画指標モニタリング事業(649千円)

物部川と仁淀川の本流及び支流において水質調査を実施し、清流保全の取り組みの達成状況を把握するための指標の収集及び経年変化の分析などを行いました。その指標は流域の小中学校での環境学習会に役立てています。

○清流基準モニタリング事業(473千円)

四万十川の清流保全のためのモニタリング調査を実施しました。四万十川流域の住民の方々に調査のご協力をいただくことで、清流を守ろうとする意識啓発にもつながりました。

○環境美化推進事業(1,614千円)

2月の県民一斉美化活動など県内各地での美化活動を実施するとともに、啓発用ポスターの作成及び掲示により、県民の美化意識の向上や自主的な美化活動につながりました。

○環境活動支援センター事業(6,387千円)

小学生を対象とした環境絵日記コンテストの実施や地球温暖化防止に向けた普及啓発活動など、県民の環境活動や環境学習に対する支援を行うことで、環境に対する意識を高める機会づくりなどにつながりました。



<分野2 ふるさとの文化と子どもたちを守り育てる>

○ふるさと教育推進事業(1,788千円)

郷土の偉人や歴史などの学習、お遍路さんへのおもてなし活動への支援などを行いました。おもてなしの心の大切さを学ぶとともに、ふるさとへの理解を深め、郷土への愛着心・関心を高めることにつながりました。

○全日制高等学校運営費(486千円)

中村高等学校の楽器を新たに購入しました。学校内の行事に留まらず、地域の演奏会などでも頼りにされている同校の楽器が更新されたことで、音楽部の生徒の意欲向上や積極的な取り組みなどにつながりました。

○山内家宝物資料館管理運営費(2,599千円)

旧土佐藩主山内家伝来の資料のうち、損傷が進む毛利勝永所用の「緋羅紗地大に渦巻文様切付陣羽織」の修理を行いました。平成28年度はNHK大河ドラマ特別展「真田丸」に出品、平成29年度以降は新たに開館する高知城歴史博物館にて定期的に展示公開する予定です。

○基本的生活習慣向上事業(1,656千円)

基本的生活習慣に関するパンフレットを作成・配付するとともに、講演会や各保育所・幼稚園等での学習会を実施し、保護者の方に乳幼児期からの基本的生活習慣の重要性を理解してもらうことにより、基本的生活習慣の定着に向けた取組が進みました。



<分野3 龍馬がふるさと「高知」を盛り上げる>

○龍馬パスポート事業(1,909千円)

県内の多くの観光施設などで特典が受けられるとともに、ステアアップごとの特典やレアスタンプなどを取り入れた「龍馬パスポートⅡ」事業を実施しました。観光客の県内全域での周遊やりピーター化を促進し、県内各地の観光地の賑わいの創出などにつながりました。



<分野4 元気あふれるこうちをつくる>

○くろしおくん着ぐるみ制作(594千円)

高知県のイメージキャラクター「くろしおくん」の着ぐるみを新たに制作しました。くろしおくんは、県内外のイベントなどに広く参加し、高知県のPRに活躍しています。

○自主防災活動促進事業(2,808千円)

自主防災組織の人材育成研修により知識や技能のレベルアップを図るとともに、実践的な防災訓練の研修会を実施することで、より実際に即した自主防災活動の取り組みにつながりました。

○鳥獣対策普及啓発事業(2,679千円)

狩猟者の確保を目的に、狩猟の果たす役割を啓発するためのフォーラムを開催しました。県内外から約220名にご来場いただき、このフォーラムを機に狩猟免許を取得された方も多数いらっしゃいました。



○集落活動センター推進事業(3,435千円)

集落活動センターのポータルサイト「えいとここうち」を開設しました。これにより、各センターが地域ぐるみで取り組む産業・生活・福祉・防災などの活動を県内外に広く情報発信しています。